

## ◆企画広報室より

企画広報室 高橋 達也

みなさんこんにちは。

新年度が始まり1ヶ月が経ちましたが新入生の皆さんは学校生活に慣れてきましたか?皆さん、入学したての時よりも『気持ちの良い挨拶』が出来るようになりましたね。『挨拶』はコミュニケーションの基本です。就職活動等でも大切なことですので、引き続き継続しましょう。

また、就職活動中の皆さん、就職活動が思うようにいかない時もあるかもしれませんが、体調管理には十分に気を付けて頑張りましょう。自分自身で限界を作らず、何にでもチャレンジして下さい。皆さんの夢が叶うよう応援しています!!

さて、企画広報室では本学の学生募集の活動として、オープンキャンパスの開催や皆さんの出身高校への訪問など、年間を通じて様々な活動をしています。

学生の皆さんは、高校卒業後に母校を訪ねたことはありますか?みなさん自身もぜひ母校を訪問してみてください。目標に向かって頑張る姿は、お世話になった先生方にも伝わると思います。

また、学生の皆さんは是非、本学2号館1階にある企画広報室に遊びに来てください。そこで、皆さんから教えて頂く近況については、高校訪問の際に必ず先生方にお伝えします。恩師の先生に伝えたい事等、話題は何でも構いませんので、教えて頂ければと思います。

今月も引き続きオープンキャンパスを開催します。すでに後輩の皆さんへ本学の紹介をしてくれた方もいて、直接お問合せを頂きました。今後も「電子情報」や「福祉医療」を目指す方々へ告知をして頂けるとうれいです。これからは更に中村学園を盛り上げていきましょう!

## \* オープンキャンパス開催日程 \*

## お仕事体験を通じて、自分の将来を考えよう!

## ○体験入学、学校・学科説明会、なんでも相談会

- 5月22日(日) 9:30~12:00

- 6月18日(土) 13:15~15:45

## ○ミニ体験、学校・学科説明会、なんでも相談会

- 5月11日(水) 17:00~18:30

- 6月9日(木) 17:00~18:30

※保護者対象説明会も同時開催※

## 5月の行事

2日(月) 学生会選挙

3日(火) 憲法記念日

4日(水) みどりの日

5日(木) こどもの日

6日(金) 健康診断【1年、2TW、2CP】

メディックファーストエイド①

7日(土) 後援会総会

10日(火) 3CP 教育実習事前研修(3日間)

11日(水) オープンキャンパス 17:00~

13日(金) メディックファーストエイド②

19日(木) スポーツ大会

20日(金) スポーツ大会(予備日)

22日(日) オープンキャンパス 9:30~

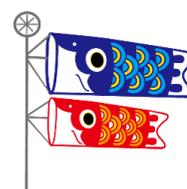
25日(水) 卒業生を囲む会(W CP以外)

26日(木) 3TW 面接指導

J検 CBT

27日(金) 創立記念日

30日(月) 3CP 教育実習(~6/24)



## ◆「志(こころざし)の好循環」を

進路室長 橋野 幸男

4月22日付の「日本経済新聞」(朝刊)は、1面トップで、「保育士 月給1.2万円上げ。来春 定昇導入に助成金。政府・与党方針。介護職員は1万円」と報じました。5月にまとめる『ニッポン1億総活躍プラン』に盛り込む予定で、財源については今後、政府・与党間で調整します。今夏の参議院議員選挙を意識したものでもありますが、保育・介護での「人手不足」・「人材育成の必要性」は広く社会の共通認識になっています。

さて、介護分野で日々研鑽に励む学生たちは、同じ志を持った入学者の

数が期待するレベルに及んでいないことを残念に思っているのではないのでしょうか。そうした皆さんに、ぜひ紹介したい新聞記事があります。次の二つは、「静岡新聞」朝刊の読者投稿欄『ひろば』に掲載されたものです。

## ① H.28.3.12、『家族がくれた 介護士への夢』、15歳・中学生:

— 介護士、それが私の将来の夢です。周りの人たちからは「大変なだけ。お給料だって少ないから違う夢にしろよ」と言われることが大半です。大変でも、お給料が少なくても、どれほど周りが反対しても私は介護士という夢をあきらめることはないと思います。/私の母と祖母は老人ホームで働くなど介護の経験をたくさんしてきました。私が小学校6年生の時、祖母の母が一人で暮らすことができない状態になり、私たちと一緒に暮らすことになりました。最初は歩くことができた曾祖母も、だんだんと歩くことができなくなり、寝たきりの生活になってしまいました。/そんな曾祖母を、仕事から帰ってきた母と祖母がお世話をしていました。食事、入浴、トイレ、この3つを仕事で疲れていても、文句を一つも言わずやっていた2人の背中を私は見てきました。そんな2人を見てきて、介護士になりたいと思いました。介護士という夢を与えてくれた母と祖母に感謝したいです。—

## ② H.28.3.17、『介護を目指す中学生に 感動』、85歳・無職:

— 12日「ひろば」欄の『家族がくれた介護士への夢』を読み、涙を流しました。60年間苦楽を共に人生路を生きてきた夫を送り、人生一通りの役を終え、今は私自身が皆さまにお世話いただく身となりました。/介護士と一言に言いますが、夫のベッドのそばに立ち、常に笑顔を保ち、家庭介護をしてきた自身の体験から、身も心も折れそうになるほど、苦勞の多い職業です。/おばあさまも、お母さまも老人ホームという中で、介護の仕事に専念されたとのこと、立派な方でした。そんな環境にもかかわらず介護士の夢を与えてくれた祖母や母に感謝する投稿から、言葉に言い尽くせない優しさが伝わってきました。/投稿を読まれた大勢の方々に、どんなに勇気を与えたことでしょうか。心身の苦、少給料は確かです。それを承知で夢を抱く強い精神力に感動いたしました。両手を合わせて拝む心境でございます。—

皆さんが目指す仕事は、この「CANジャーナル」4月号の『28年度の指導方針について』に学科長が、

— 皆さんが選ばれた道は間違いありません! /この道は、人々から求められ、感謝され、そして進んでいけば必ず報われる“自らが社会から生かされている”ことを肌で感じられる道です。—

と述べているように、社会的意義と「誇り」に溢れるものです。また、あの中学生のように、皆さんと同じ志を持って続こうとしている若人がいます。そして、そんな皆さんを、②の投稿者のように、多くの人たちが期待と応援の温かい眼差しで見つめているのです。

今月、皆さんの分野の『卒業生を囲む会』が開催されます。現場で活躍する先輩たちから、その志と生きがいを受け継いでください。そして、『オープン・キャンパス』では、今度は皆さんが、将来の後輩たちに夢を与えてください。アベノミクスの「経済の好循環」ではありませんが、「志の好循環」が起きることを期待します。

### ◆新入生御殿場宿泊研修を終えて

#### 映像・音響デザイン学科 渡辺 千晶

「おはよう。」目を合わせると笑顔でお互いに挨拶をします。一日の始まりはいつもこの挨拶でした。研修はお互いのことを知り、心の友を作るためにも、できるだけ人と話すことを目標としていた私は、会話をするために必要なものが、この最初の挨拶が重要だと考えます。

その中でも、「おはよう」や「こんにちは」、「さようなら」は当たり前です。しかし、それだけでは会話はそこで終わってしまいます。その後には続く「今日はいい天気だね。」や「今日はこういうことをする予定なんだ。」という話をするための言葉が必要です。ゆえに私は、それらの言葉も挨拶の一部として口に出すべきであると考えます。

今回の研修で私はそれを心掛けた結果、完璧にできているとは思いませんがクラスの人としっかり話すことができました。話すことでその人のことを知り、自分の情報も発することができます。

視野が広がるような会話はプラスになる会話に繋がっていきます。ためになる会話をするためにも、挨拶は欠かせません。挨拶は当たり前だと一存にせずこれからも注視し、共に勉学に精励していきます。

#### ゲーム応用学科 大石 真也

私は今回の新入生宿泊研修で多くのことを学びました。その中でも特に、挨拶に対する意識を改めました。今まではすれ違う時に軽く会釈をする程度でしたが、今回、先生に教えていただいた「立ち止まって挨拶をする」ことを実践すると、相手の方も挨拶を返してくれることが多くなり、とても気分が良くなりました。このような挨拶を宿泊研修期間だけで終わらせることなく、これからも続けていきたいと思いました。

二日目の礼法では、礼儀作法の所作だけでなく、「叱られ下手」や「感謝の気持ちを忘れない」など、とても興味深いお話を拝聴することができました。礼法の所作ひとつで相手への気持ちの伝わり方が全然違うことがとても印象的でした。

TQCでは、ブレインストーミングを行う中で、自分では思いつかなかった意見や考えが多く出され、大変良い刺激になりました。

今回学んだことを一つでも多くこれからの学校生活で実践することで、将来より良い就職ができるよう頑張りたいです。

#### ロボット創造学科 中西 正耀

私は宿泊研修を行った事で考え直す事が幾つかありました。その中でも、コミュニケーションの重要性について、最も考えさせられました。仲間内での交流は当たり前のものであり、社会に出るという事は、初めて会った人とのコミュニケーションの連続なのだと改めて実感しました。

初めは自分以外の人がいることに抵抗がありました。しかし、つどい、礼法、食事等を通し、自分以外の人がいることのありがたさを感じることができました。電子情報の男子間は面識をもち、宿泊研修で互いに協力し、絆のようなものが築かれたと感じます。

けれど、同じ電子情報の中でも女性陣とはまだまだ他人のように感じる時もあります。さらに福祉の人達との距離はまだ遠く感じます。私にとってコミュニケーションはこれからも大きな課題です。今後この課題を乗り越えていけるよう、まずは挨拶を心掛け、積極的にコミュニケーションを取っていききたいです。絶賛友達募集中です。よろしくお願ひします。

#### 総合福祉学科 望月 亜純

私は、今回の御殿場宿泊研修での最終日に「退所挨拶」をさせていただく予定でした。しかし、雨天のため発表する機会を得ることができなかったので、ここで発表させていただきます。

『私たちの2泊3日の宿泊研修では、施設の方をはじめ同じ時期に入所した参加者の皆様には、交流を通して大変お世話になりました。私達は、今回「よりよい就職をするために」というテーマでTQCを行ったり、礼法を教えていただいたりしました。TQCでは、まだ入学したばかりで互いのことを良く知らなかった仲間でしたが、この三日間で交流も深められ、自分達の描く将来への希望を見つけることができました。また実現に向けてもっと職業についての知識を深めなければならないし、もっと具体的に将来像を考えなければならない、などの課題も見つかりました。

三日間で感じたこと、学んだことをどう活かすかは自分次第です。挨拶をきちんとする、マナーを守る、礼儀正しくするという当たり前のことを当たり前のようにし、二年後または三年後自分の描く夢を実現させたいと思います。』以上です。

そして今、授業が始まりました。礼法で学んだ挨拶の大切さやTQCで見つけた課題の答えを見つけるためにも日々の授業を大切に受けることを実践し、自分を成長させたいと考えています。

#### 介護福祉学科 山本 今日子

この2泊3日の研修では礼儀作法と、仲間と協力する大切さ、意見を出し、話し合う大切さを学びました。

尾崎先生のお話から、感謝の気持ちや心のこもった挨拶を教えてくださいました。礼儀作法ができることは人間としての魅力があると感じました。私自身、どんな時でも感謝の気持ちを忘れずに生活できるようになることを目指し努力したいと思っています。

TQCでは、意見を出せるか不安でした。しかし、意見を出すと、まわりが私の意見を理解してくれ「これはこうじゃない?」「こうしたら良いのでは?」等々と話し合いが広がり、そこから、新たな考えや、意見につなげることができ、自分たちにしか出せない意見が生まれることがあるのだと感じました。これからも自分の意見を出し、相手に想いをしっかりと伝えることができるようにしていきたいです。

今回の研修の経験を今後の学校生活に生かし、自己実現に向けて努力してこうと強く思っております。

#### 子ども心理学科 賤機 美里

私はこの三日間の宿泊研修を通して、たくさんの経験をし、たくさんの人と仲良くなることができました。研修に行くまでは、席が近い人しか話せていませんでしたが、一日目の箱根でオリエンテーションを行った時にクラスの人と会話することができました。夕べのつどいで施設にいる他の団体の人と交流したり、泊まる部屋が同じ人とより打ち解ける事ができました。二日目の礼法では正しいあいさつの仕方、感謝の気持ちを忘れないことを教わり、今後の自分の生活でも生かしていこうと思いました。TQCでは、グループ全員が協力して意見を出し合い一つのものを作り上げる達成感を味わうことができました。大変な時も良い思い出になり、自分以外の人意見も新鮮で学ぶ事がたくさんありました。研修で感じた事、学んだ事を忘れないように、あいさつや礼儀作法を実行していきながら、日々の生活に繋げていきたいと思ひます。

#### 医療情報秘書科 堀井 亜珠花

私達は、二泊三日の御殿場研修でこれからの社会に向けて必要な礼儀作法や、就職をするために大切なことなどを学んできました。研修を通して今回、私達が就職をするにあたって一番大切なことは何かをグループで話すことにより、自分では気づくことのできなかったことを知ることができ、これから目指す医療事務員になるため身に付けなければならないことを意識し生活していきたいと思ひます。

もう一つは人とのコミュニケーションを取ることだと思ひました。誰とでも積極的に話し、接することによって患者さまのことをより理解できると改めて考えることができ、これからの就職活動に活かしていきたいと思ひます。そして、研修の一つの目的である一人でも多く「心の友」を作るという目的も達成する事ができたと思ひます。

